

2022 年度活動報告

2022 年

- 4 月 14 日 What the Catholic Church has Learned from the Interreligious Dialogue
Presenter: Dr. Peter C. Phan (Georgetown University)
- 6 月 24 日 Silent Inculturation: Serendipity, Dangerous Memory, and Japan's Hidden Christians
Speaker: Antonio D. Sison
- 6 月 25 日 Reading Nishida's Absolute Contradictory Self-Identity
Participates: Steve Lofts, Jan Gerrit Strala, Tobias Bartneck, Sova Cerda, Yoneyama Masaru, Jacynthe Tremblay, Felipe Ferrari, Enrico Fongaro, Hans Peter Liederbach, Morten Jelby
- 7 月 1 日 第 14 回 南山宗教研究会
発表者: 石原和、末村正代
- 7 月 1 日 Workshopping Book Proposals
Speaker: Matthew D. McMullen
- 7 月 8 日 オンライン講義シリーズ Faith among Faiths 第五回
Lecturer: J. Abraham Velez de Cea (Eastern Kentucky University)
- 7 月 15 日 Envisioning Multi-Cultural and Multi-Disciplinary Engagement: Lessons from the Twelve Wolf Encounter
Speaker: Gereon Kopf
- 10 月 14 日 Humanity's Pilgrimage toward the Light: The Mystics of World Religions as Torchbearers
Lecturer: Sung Hae Kim (The Sisters of Charity of Seaton Hill, Professor Emeritus of Sogang University)
- 10 月 15 日 西田天香ワークショップ
趣旨説明: 大橋良介、発表者: 宮田昌明、水野友晴、野田龍三、コメンテーター: 岩田文昭、司会: 末村正代
- 11 月 5 日 Between Loneliness and Isolation
Presenter: Rebecca Moccia (Artist), Karin Moriyama (Institute for Social Ethics), Commentator: Winibaldus Stefanus Mere (Institute for Social Ethics), Taro Okuda (Institute for Social Ethics), Moderator and Interpreter: Enrico Fongaro

2022 年度活動報告

- 11 月 9 日 Tetsugaku: Wissenschaft or Michi
Speaker: Thomas P. Kasulis (The Ohio State University)
- 11 月 25 日 第 15 回 南山宗教研究会
Speaker: Enrico Fongaro
- 12 月 3 日 ハワイ仏教文化財・調査報告 2022
司会進行: 安中尚史 (立正大学)、中原ゆかり (愛媛大学)、報告者: 笹岡直美 (東北芸術工科大学)、守屋友江、石井清純 (駒澤大学)、南原一貴 (曹洞宗総合研究センター)
- 12 月 7 日 For a process philosophy of mind
Speaker: Rein Raud (Tallinn University)
- 12 月 12 日 『怪異と遊ぶ』合評会 —怪異と宗教について考える—
発表者: 大道晴香 (國學院大學)、斎藤喬、コメンテーター: 土居浩 (ものづくり大学)
- 12 月 13 日 ラウンドテーブル: 「宗教・食・移民——トランスローカルな宗教実践の学際的考察」
報告者: 東聖子氏 (近畿大学)、松本ユキ (近畿大学)、桐原翠 (日本学術振興会特別研究員 PD)、コメンテーター: 守屋友江
- 12 月 19 日 On Miki Kiyoshi's The Logic of the Imagination
Organizer: Enrico Fongaro
- 12 月 24 日 宗教とジェンダーの最前線 (主催: 国際日本文化研究センター、後援: 南山宗教文化研究所)
総合司会: 安井真奈美 (国際日本文化研究センター)、挨拶: フレデリック・クレインス (国際日本文化研究センター)、マシュー・マクマレン、趣旨説明: 小松加代子 (多摩大学)、発表者: 小林奈央子 (愛知学院大学)、澤井真代 (立正大学)、福島栄寿 (大谷大学)、猪瀬優理 (龍谷大学)、コメンテーター: 磯前順一 (国際日本文化研究センター)、井上順孝 (國學院大學)、総括: 川橋範子 (国際日本文化研究センター)

2023 年

- 2 月 17 日 Nanzan Book Talk: Nanzan Guide to Japanese Religions (paperback)
Speaker: Paul L. Swanson, Matthew D. McMullen
- 2 月 18 日 ヴァーチャル学会をつくる
講師: 石原和
- 3 月 5 日 「文学と宗教」研究会: アメリカにおける越境者の文学——仏教との関わりから考える

発表者：堀まどか（大阪公立大学）、末村正代、水野真理子（富山大学）、
コメンテーター：守屋友江

3月18日 清水諫見旧蔵如来教関係史料刊行シンポジウム：近世近代移行期の如来教
と宗教制度

司会：石原和、報告者：神田秀雄（天理大学）、石原和、吉水希枝（立命館
大学）

3月31日 Stepping on Lotus Flowers: Rethinking Buddhist Faith in Modern Asia
Chair: Seung Chul Kim, Matthew McMullen, Speaker: 田中公明（中村元東
方研究所、高野山大学、東洋大学）、周夏（同朋大学仏教文化研究所）、嘉
木揚凱朝（社会科学院世界宗教研究所、同朋大学仏教文化研究所）、Sugeng
Tanto（名古屋女子大学）、Abdul Bashir (University of Dhaka)、Dilip
Kumar Barua (University of Dhaka)、Sikder Monoare Murshed (University
of Dhaka)、Shucho Takaoka (Conclusion)

2022 年度スタッフ研究業績

エンリコ・フォンガロ（第一種研究所員）

著書 E. Fongaro, Impermanenza della filosofia, in A. Cariolato (a cura di), *Prospettive del contemporaneo. Quattro lezioni di filosofia*, CLEUP, Padova 2022

E. Fongaro, Kata, in C. Robbiano, S. Flavel (ed. by), *Key Concepts in World Philosophies*, Bloomsbury, London 2022

研究発表 On the bodily lived experience of storytelling: is an ethics of storytelling possible?, at Tale's now, Tohoku University, 2023-03-6

Filosofie del tempo: Eihei Dōgen e Kitarō Nishida 4, at Scuola permanente di filosofia, Biblioteca G.Bedeschi (Arzignano), 2022-12-26

Filosofie del tempo: Eihei Dōgen e Kitarō Nishida 3, at Scuola permanente di filosofia, Biblioteca G.Bedeschi (Arzignano), 2022-12-19

Filosofie del tempo: Eihei Dōgen e Kitarō Nishida 2, at Scuola permanente di filosofia, Biblioteca G.Bedeschi (Arzignano), 2022-12-12

Filosofie del tempo: Eihei Dōgen e Kitarō Nishida 1, at Scuola permanente di filosofia, Biblioteca G.Bedeschi (Arzignano), 2022-12-5

Eternity as a guest - On temporality in Nishida and Nishitani, at Nishida-Nishitani Workshop, Kyoto 2022-10-21

Absolutely contradictory self-identity and time, at Readings of Nishida's "Absolute Contradictory Self-Identity (1939)", Nanzan University, 2022-06-25

Zen and Consciousness - On Nishida's concept of consciousness as 'place', University of Lisbon, 2022-05-26

競争的資金獲得状況 JSPS 科研費「「永遠の今」と体験—西田幾多郎における美学と時間論」基盤C、19K00001

石原和（研究員）

著書（神田秀雄・吉水希枝と共編）『近代如来教と小寺大拙—研究と史料』一般社団法人日本電子書籍技術普及協会、2023年

（菊澤律子と共編）『手話が「発音」できなくなる時—言語機能障害からみる

- 論文 『話者と社会』 ひつじ書房、2022年
- 「明治一五年前後の如来教の活動公認模索」、石原和・神田秀雄・吉水希枝編『近代如来教と小寺大拙—研究と史料』一般社団法人日本電子書籍技術普及協会、2023年、pp. 29-38
- 「受持仏堂序論—如来教と愛知県を事例に」、石原和・神田秀雄・吉水希枝編『近代如来教と小寺大拙—研究と史料』一般社団法人日本電子書籍技術普及協会、2023年、pp. 39-48
- 「手話初心者が読む『手話が「発音」できなくなる時』」、石原和・菊澤律子編『手話が「発音」できなくなる時—言語機能障害からみる話者と社会』ひつじ書房、2022年、pp. 125-132
- その他執筆活動 (荻原稔と共著)「書評とリプライ：石原和著『「ぞめき」の時空間と如来教—近世後期の救済論的展開—』」、『宗教と社会』28号、pp. 45-50
- 研究発表 「明治15年前後如来教の活動公認への模索」、清水諫見旧蔵如来教関係史料刊行シンポジウム 近世近代移行期の如来教と宗教制度、2023年3月18日(オンライン)
- 「ヴァーチャル学会をつくる」、ワークショップ ヴァーチャル学会をつくる、2023年2月18日(オンライン)
- 「受持仏堂と新宗教の明治維新一法持寺と如来教の事例から」、第3回 曹洞宗の歴史と文化研究会、2022年12月23日(オンライン)
- 「明治15年前後の仏堂と民間宗教者」日本宗教学会、2022年9月11日(オンライン)
- 「近世名古屋の宗教と如来教」、南山宗教研究会、2022年7月1日(オンライン)
- 競争的資金獲得状況 JSPS 科研費「近世近代移行期における教団未満の宗教者と新宗教をめぐる史的研究」若手研究、20K12822
- その他 国立民族学博物館特別展「Homō loquēns「しゃべるヒト」～ことばの不思議を科学する～」、2022年9月1日-2022年11月23日、展示協力

金承哲 (第一種研究所員、人文学部教授)

-
- その他執筆活動 遠藤周作『深い河』—痕跡を追いかける人々の物語(講談社版『深い河』解説文)
- 研究発表 On Theology and Things Lyric: Literary Style in Contemporary Asian Theology 2022年11月11日、天主教輔仁大學宗教學系(台湾)

梁曉虹（第二種研究所員、総合政策学部教授）

著書 『無窮会本系「大般若経音義」研究—以漢字研究為中心』 上海教育出版社
2023年 pp. 473

論文 「無窮会本『大般若経音義』疑難異體字例考（下）」、『東亜文献研究』30号、
2022年12月、pp.1-19

研究発表 「無窮会本系『大般若経音義』“詹”聲俗字考」、第33回中国文字学国際学
術研討会、台湾輔仁大学中国文学系／中国文字学会、2022年5月29日（オ
ンライン）

「無窮会本系『大般若経音義』在日本古辞書音義研究上の価値」、第七回文
献語言学国際學術論壇、鄭州大学漢字文明伝承伝播与教育研究センター、鄭
州大学文学院、北京文献語言与文化伝承研究基地、北京語言大学文献語言学
研究所、2022年6月19日（オンライン）

「無窮会本系『大般若経音義』訛字研究—以高野山大学本為例」、第四回跨
文化漢字国際學術研討会、四川大学中国俗文化研究所、鄭州大学漢字文明伝
承伝播与教育研究センター、2022年7月10日（オンライン）

「天理本『大般若経音義』異體字研究」、第三回華中大語言論壇、華中科技大
学人文学院／華中科技大学外国語学院／華中科技大学中国語言研究所、2022
年7月17日（オンライン）

「論“無窮会本系”『大般若経音義』疑難異體字の研究価値—以無窮会本為中
心」、近代漢字研究第四回學術年会、南京師範大学文学院／近代漢字研究会、
2022年10月23日（オンライン）

「無窮会本系『大般若経音義』複音詞积文特色研究」、第二回漢語音義学研
究国際學術研討会、華中科技大学／浙江大学／浙江工業大学、2022年10月
30日（オンライン）

「從日僧撰『大般若経音義』看佛經音義在日本的發展」、第三回域外漢文文献
語言学工作坊、中山大学中国語言文学系（珠海）、2022年11月5日（オン
ライン）

「康曆本『大般若経音義』類聚“梵語”、“漢語”特色考察—以“梵語文”為
中心」、第十五回漢文佛典語言学国際學術研討会、浙江大学、2022年11月6
日（オンライン）

マシュー・マクマレン（第一種研究所員、人文学部講師）

その他執筆活動 “Annual Update: Japanese Journal of Religious Studies.” *Bulletin*

of the Nanzan Institute for Religion and Culture 46 (2022): 22-25.

“Review Discussion: Religion, Politics, and the Law in Postwar Japan,” Co-authored with Mark R. Mullins and Jolyon Baraka Thomas. *Japanese Journal of Religious Studies* 49 (2022): 115-146.

守屋友江 (第一種研究所員、人文学部教授)

その他執筆活動 「東西を往還する大拙とピアトリスの活動」『軌跡』4、多摩美術大学アートアーカイヴセンター、2022年、86～92頁

「大拙の禅芸術論をどう読むか」『月刊アートコレクターズ』164、48～51頁

研究発表 Transnational History of Japanese Buddhism in the United States, Zenshuji Soto Mission 100th Anniversary Lecture, 2022年10月15日(オンライン)
「移民の定住とハワイ開教—ハワイ本派本願寺所蔵資料より」第2回ハワイ仏教文化財研究会「ハワイ仏教文化財・調査報告2022」、2022年12月3日(オンライン)

「ハワイ本派本願寺教団創設期の開教と移民—新発見史料の中間報告」仏教史学会3月例会ワークショップ「ハワイ日系仏教寺院所蔵の新出資料・文化財による領域横断的な仏教史研究」、2023年3月11日(オンライン)

競争的資金獲得状況 JSPS 科研費基盤研究 (B)「禅から Zen へ—世界宗教会議を通じた禅のグローバル化の宗教史・文化史的研究」、20H01192

西脇良 (第二種研究所員、人文学部教授)

その他 翻訳「23章 宗教性およびスピリチュアリティ発達」、2022年8月、『児童心理学・発達科学ハンドブック』(全4巻)、第3巻下巻、福村書店、pp. 1407-1480, (74p.), (Lerner, R. H. [Ed.]), (2015), *Handbook of Child Psychology and Developmental Science, Vol. 3. Religious and Spiritual Development* 部分の翻訳)

研究発表 「掘り起こされていない研究分野を開拓する方法(現在進行中)—話題提供② 研究プロジェクトを起こすことの意義」、日本心理学会、2022年9月8～11日(オンライン)

斎藤喬（第一種研究所員、人文学部講師）

論文 「語り継がれる狸合戦——阿波における憑依と遊戯」—柳廣孝・大道晴香編『怪異と遊ぶ』青弓社、2022年

その他執筆活動 Felicia Katz-Harris, ed., *Yōkai: Ghosts, Demons & Monsters of Japan. Asian Ethnology 81/1&2* (2022): 356-358.

「『真景累ヶ淵』と『怪談』における恐怖の語り——Jホラーは怪談噺の夢を見るか？」『ユリイカ』54/11 (2022): 281-289.

「津山事件における復讐の論理と戦慄の問題」『中央評論』74/4 (2023): 58-67.

研究発表 「津山事件における戦慄と宗教」日本宗教学会第81回学術大会、2022年9月11日（オンライン）

「第2章「語り継がれる狸合戦——阿波における憑依と遊戯」『怪異と遊ぶ』合評会—怪異と宗教について考える—、2022年12月12日（オンライン）

競争的資金獲得状況 JSPS 科研費若手研究、20K12817「明治期怪談噺における憑依の表象—宗教文化の精神医学化をめぐる—」

末村正代（研究員）

論文 「北米禅における実践の萌芽——二つの英訳『無門関』から」、『比較思想研究』49号、2023年、pp. 95-101、査読あり。

その他執筆活動 翻訳：「鈴木大拙 コロンビア大学セミナー講義原稿——一九五二年二月五日、七日」（Richard M. Jaffe, “D. T. Suzuki’s Columbia University Seminar Lectures Manuscripts February 5 and February 7, 1952”）、『公益財団法人松ヶ岡文庫研究年報』37号、2023年、pp. 35-66。

書評：「フィリップ・C・アーモンド著・奥山倫明訳『英国の仏教発見』／吉永進一著『神智学と仏教』」、『仏教史学研究』64巻1号、2022年、pp. 101-108。

研究動向：「二〇二〇年——鈴木大拙生誕一五〇年」、『近代仏教』29号、2022年、pp. 164-177。

研究ノート：（堀まどかとの共著）「二〇世紀前半期の米国における仏教者リスト——一九三〇年代の日本人開教使による記録から」、『近代仏教』29号、2022年、pp. 136-147、査読あり。

研究発表 「北米禅に底流する詩情——千崎如幻とその詠歌」、「文学と宗教」研究会：アメリカにおける越境者の文学——仏教との関わりから考える、2023年3

月5日(オンライン)。

“Koken Murano: The Principal Author of Histories of Overseas Buddhist Missions.” Zenshuji 100th Anniversary Lecture Series、2022年10月16日(オンライン)。

「近代における日米宗教者の交流に係る二、三の事例」、第14回南山宗教研究会、2022年7月1日(オンライン)。

「北米禅における reality——千崎、ブライス、大拙」、第49回比較思想学会、2022年6月19日(信州大学)。

「パンデミックで考える「自由」——鈴木大拙の宗教経験論を手引きとして」、東アジア文化交渉学会第14回国際学術大会、2022年5月8日(オンライン)。

競争的資金獲得状況 JSPS 科研費「近代における禅越境の動態——釈宗演の門人・千崎如幻を中心として」若手研究、21K12852。

2022 年度研究所スタッフ

第一種研究所員

Enrico Fongaro

金 承哲

Matthew D. McMullen

守屋友江 (所長)

斎藤 喬

第二種研究所員

梁 暁虹

西脇 良

編集員

Tim Graf

ヴァン・ブラフト奨励研究員

石原 和

末村正代

プロジェクト研究員

Josko Kozic

Rebecca Moccia

Gerald Nelson, Jr.

Jacynthe Tremblay

特任研究員

Reinhold Bernhardt

Antonio D. Sison

非常勤研究員

深堀彩香

後藤晴子

Alena Govorounova

橋本裕明

日沖直子

星野 壮

犬塚 悠

井関大介

岩本明美

川上恒雄

川橋範子

小林奈央子

倉田夏樹

栗田英彦

内藤理恵子

奥山倫明

朴 妍注

坂井祐円

Tiziano Tosolini

Rocco Viviano

諸宗教研究講座客員研究所員

なし

南山大学名誉教授

James W. Heisig

Paul L. Swanson